

CES 活動ニュース

1. CES 環境講座 実施報告

平成 25 年度のクラス I 活動の目玉ともいえる「環境講座」が、去る 12 月 14 日（土）の最終講座をもって終了いたしました。

最終回では、受講者がこれまでの講座で得た知識や発見、また講座の意義等を参考に、今後の講座に取り上げてほしいテーマなどについての発表がありました。休日の日中にもかかわらず、千代田区からは石川区長をはじめ、保科環境安全部長、河合環境・温暖化対策課長にご出席をいただきました。

区長からは、「環境講座が、区行政の地球温暖化対策における普及・啓発に欠かせない活動であり、受講した皆さんの今後の活躍に期待したい。」また、保科部長からは、「皆さんの活動の場としてさらなる発展をしてほしい。」河合参事からは、「区の施策と相俟って活動が有効に機能するよう期待する。」と、それぞれ励ましのお言葉をいただきました。

また、CES 推進協議会の大森会長からは、各発表テーマの講評として、「大変有益性を感じた。是非、次の講座計画に組み入れ、多くの受講者が体現できるように繋げてほしい」という講評がありました。

講評ののち、受講者それぞれに大森会長から「修了証」が手渡され、講座受講の喜びを感じていただきました。

その後、出席者による交流会があり、講座参加の思い出や、新しい発見などそれぞれ和やかな時間を過ごしました。

なお、今年度の講座では、当初の計画にはなかった企画が「オプション講座」の形で盛り込まれるなど、その運営には少なからず関係各位にご迷惑等をおかけしたのではないかと反省をしておりますが、ご配慮頂いた方々にはこの場を借りて厚く御礼を申し上げます。



CES 環境講座 交流会の様子

2. 協力・支援活動・・・「大丸有エコキッズ探検隊 出前授業」

ご存知のように、「大手町・丸の内・有楽町エコキッズ探検隊実行委員会（以下「エコキッズ実行委員会）」が主催する「エコキッズ探検隊 出前授業」が、今年も秋から来年 3 月までの期間で開催されていますが、当 CES 推進協議会も、毎年協力・支援の形で関わらせていただいております。

この企画は、区内の小学生を対象に、エリア内等の企業等が様々な環境教育プログラムを提供し（出前）、授業を行うもので、様々な実験などを通して環境啓発につなげようとするものです。

今年度も“風車を作って発電しよう”や、“『冷却パック』を作る



昨年度の様子「冷却パックを作ろう」

う”等、多彩なプログラムが用意されています。

スタッフは、エコキッズ実行委員会事務局、プログラム提供の企業・団体の皆さん、そして私どもCESの環境リーダー会と、明治大学及び法政大学の学生の皆さんです。今回CESからの協力者は、期間中を通して延べ38名の予定です。

3. “エコレシピコンテスト”・・・【ランチエコキャンペーン】

11月11日（月）から15日（金）まで開催した「第10回 ちよだランチエコキャンペーン」の新企画の一つである“エコレシピコンテスト”の最終審査が、去る12月21日（土）に東京家政学院大学にて実施されました。

環境にやさしい「エコ」なレシピ・・・日頃何気なく行っている料理も、工夫やアイデア次第で、材料の有効活用や、調理時の省エネなど、無駄を大きく軽減することが可能であることを学ぶ、良い機会となりました。

最終審査は、応募者のうち3名による競演でしたが、手際の良さや、工夫された調理の仕方に、その場にいた皆さんも感心しておられました。

その後、審査員の先生方に試食をしていただき、講評をしていただきました。

結果は以下の通りです。

受賞名	レシピ名	受賞者名
最優秀賞 『愛情クイックエコ賞』	子どもが大好き^^SEA SOY	高橋珠美さん
『スマートヘルシーエコ賞』	ぬかりないピザ	岩村もと子さん
『ゴージャスカラフルエコ賞』	ちよだエコ弁当～スリーエコ～	チームつくねちゃん



“子どもが大好き^^SEA SOY”は「おから」を使った料理で、食材廃棄量が少ないこと、フライパン一つで調理でき使用食器が少ない(=洗剤を使う量が少ない)こと、また調理時間が短い“クイッククッキング”で、省エネにつながることで評価されました。

“ぬかりないピザ”は材料に糠を使用しており、本来であれば捨てられてしまう廃棄物を有効利用しているという着眼点が良いこと、“ちよだエコ弁当～スリーエコ～”は、食材廃棄量が少ないこと、つくねを作る際にボールを使用せずにラップ使用していること(=洗剤を使う量が少ない)が評価されました。

以上の表彰のほか、参加者全員にエコ・アート（環境リーダーの三村万葉さん作品）を贈呈いたしました。

「食」を通じたエコへの取り組みは、各地ですで行われているところですが、CESとしては、こういったコンテスト形式での実施は初の試みでした。今回の実践を契機に、環境啓発の手段の一つとして

広く進めることが有益と感じたところです。

東京家政学院大学の皆様はじめ、審査を担当していただきました林教授、東京ガス(株)西村副支店長にはこの場をお借りして、厚く御礼を申し上げます。

4. CES認証委員会で大原学園が認証されました。

学校法人大原学園は、本年度からクラスⅢ活動を開始しましたが、去る10月15日(月)に初の監査を実施し、当協議会からCES認証委員会に対して「認証」の推薦を行いまして、今月13日(金)、認証委員会での審議の結果「認証」されました。

かんきょう

皆様、1年間『事務局通信』をご覧いただき、誠にありがとうございました。

つたない文章や整わない文脈など、さぞ読みにくい記事であったことと思いますが、事務局職員が精一杯の努力で発行させていただきましたことをご理解いただければ幸いです。

ご承知のようにCESは、千代田区が推進する「地球温暖化対策や地域の環境改善の普及・啓発」促進の担い手として携わっておりますが、千代田エコシステム(CES)を通して、更なる普及・啓発に努めることの必要性を感じた1年でした。例えば、「クラスⅠ」におけるイベント活動なども、更に新鮮味を出す必要があるでしょうし、「クラスⅡ」についてもガイドの見直しによって対象事業者にとって有益なものとなることが求められるなど、是非とも新年度に向けた活動に繋げるものにしたいと考えております。このCES事務局通信も、限られた範囲にとどまらず、今後とも多くの方々に読んでいただけるよう努力してまいりたいと考えておりますので、何卒ご支援の程よろしくお願い申し上げます。

ところで本年6月に「富士山」が世界文化遺産に登録されました。

ご承知のように「富士山」は、古くから日本の象徴として、また、日本人の山岳信仰や浮世絵の題材など文化的意義を含め評価されたものですが、その富士山もかつては「ゴミ捨て場」と酷評された時期もあり、なかなか文化遺産登録として認められませんでした。しかし「世界文化遺産」になった今、そうした不評につながらないように、一人一人が環境の維持保全に努めなければならないでしょう。同様に自然環境ばかりでなく、資源環境や、生活環境などの面でも一層の関心を持つことが求められ、更なる普及・啓発に努めなければならないと考えております。



s k